

# 省エネデータ分析事例から考える “次世代型” 継続的改善への課題

工場やビル建物における省エネ推進の一手法として、「EMS（エネルギー管理システム）」の活用と「見える化」、そしてその結果に基づく「省エネ型行動への変容（≒運用改善による省エネ）」が挙げられます。その前提として「定量的なデータの把握」と「適切な分析」が不可欠であることは自明ですが、このような「総論」に対する「各論」、即ち実際にこれを現場で継続的に実践するには様々なハードルがあります。最近では部分的にEMSを拡張させた「I o T」あるいは「A I」技術の活用とこれらが相俟って省エネの世界で様々な話題となっておりますが、その実は未知数です。

そこで本講座では「省エネデータ分析」とその事例を切り口に、前述したような話題への具体的（「現場的」「現実的」ともいってよい）課題に、様々な視点から解説を加えます。省エネの進捗をどう評価するか（省エネ法「SABC評価制度」も念頭に）、計測を進める過程で考えるべき省エネの着眼点、I o T型エネルギーマネジメントを睨んだ技術的課題など、従来のエネルギー管理からの脱却方法を探っている皆様に、中立的な視点から「気づき」をご提供致します。

●開催日：平成30年11月28日（水）15:00～17:00

●会場：北海道経済センター 7階 第5会議室（交流会17:10～）

《カリキュラム（主な話題）》

■札幌市中央区北1条西2丁目 受講生には別途地図を郵送致します。

- ・データ分析で「原単位の“分母”」を見直せるのか？その手法と課題は何か？
- ・電力（量）だけじゃない！計測とその対象選定に係る「省エネ的」な着眼点
- ・データ分析で進めるエネルギー消費設備の「安定稼働」と「効率稼働」事例
- ・「I o T」「A I」時代のエネルギー管理を考える上で最低限知っておきたいこと
- ・I o Tによるエネルギー管理の採用と、企業の「大・中・小」には関係がない？ など

講師：（一財）省エネルギーセンター  
総括主幹 鈴木 伸隆

【交流会】参加費無料 17:10～18:10 情報・意見交換・相談・・・

## 申込要領

1. 定員・・・・・・・・・・25名（最小開催人数10名）
2. 申込方法 下記の参加申込書に記入後、ファックス又はE-mailにてお申し込み下さい。
2. 受講料（消費税込） 一般 5,400円 賛助会員：無料（1会員様 2名までとさせていただきます）
3. 支払い方法 請求書がお手元に到着次第、指定口座にお振込み下さい  
（振込手数料はご負担をお願いいたします。お支払い期日は原則として開催日の前日までです。）  
キャンセルは実施（前日起算）7日前までとさせていただきます。  
それ以降のキャンセルについては理由の如何を問わず受講料は請求させていただきます。
4. 申込み／問合せ先 一般財団法人省エネルギーセンター 北海道支部 電話：011-271-4028 e-mail：hkd@eccj.or.jp  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター6階

▼ FAX 送信 : 011-222-4634 または Email : hkd@eccj.or.jp ▼

11/28「省エネデータ分析事例から考える“次世代型” 継続的改善」

受講申込書

申込日：平成30年 月 日

会社名・事業所名・所属部署名	※該当の□にチェックを入れ下さい。また、賛助会員の方は会員番号の記入をお願いします <input type="checkbox"/> 賛助会員 (会員 No. _____) <input type="checkbox"/> 一般		申込受付印
所在地 〒 _____	■支払予定日：平成 ____年 ____月 ____日		
TEL : _____ FAX : _____	交流会	参加者氏名 (フリガナ)	受講料
申込担当者(請求書、受講票はこちらへ送付します)	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加		円
eメール :	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加		円
	合 計		円